

Q001 社会保障 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、介護保険制度の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 介護を社会全体で支えるための社会保険制度で、市町村と特別区が保険者となる。
- B. 40歳以上65歳未満の医療保険加入者で、特定疾病により要介護・要支援状態となった場合に給付対象となる。
- C. 障害を理由とする不当な差別的取扱いの禁止と合理的配慮の提供を求める法律。
- D. 判断能力が不十分な人の財産管理や契約を法律面から支援する制度。

答え・解説

正答：A. 介護を社会全体で支えるための社会保険制度で、市町村と特別区が保険者となる。

超簡単な解説：介護保険制度は、介護を社会全体で支えるための社会保険制度で、市町村と特別区が保険者となる。

Q002 介護保険 | 4択 | 標準

問題

施設入所中の利用者で、第1号被保険者を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 65歳以上の利用者には、要介護認定により介護サービス利用を検討できると説明する。
- B. 申請、認定調査、主治医意見書、審査判定の流れを大まかに説明する。
- C. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。
- D. 筆談や読み上げなど、必要な配慮を本人に確認して対応する。

答え・解説

正答：A. 65歳以上の利用者には、要介護認定により介護サービス利用を検討できると説明する。

超簡単な解説：第1号被保険者では、65歳以上の利用者には、要介護認定により介護サービス利用を検討できると説明する。この対応が適切である。

Q003 介護保険 | 4択 | 標準

問題

介護実践で第2号被保険者を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 年齢だけでなく原因疾患が給付要件に関わるため。
- B. 軽度の判断能力低下でも生活上の権利を支えられるため。
- C. 安全確認は医療職だけが行うため。
- D. 本人の生活の場を維持しながら必要な支援を受けるため。

答え・解説

正答：A. 年齢だけでなく原因疾患が給付要件に関わるため。

超簡単な解説：第2号被保険者を重視する理由は、年齢だけでなく原因疾患が給付要件に関わるため。

Q004 介護保険 | 4択 | 応用

問題

Dさんは要介護認定に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- B. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- C. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- D. 本人の訴えを受け止め、申請、認定調査、主治医意見書、審査判定の流れを大まかに説明する。

答え・解説

正答：D. 本人の訴えを受け止め、申請、認定調査、主治医意見書、審査判定の流れを大まかに説明する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、要介護認定の観点から本人中心に対応する。

Q005 地域支援 | 4択 | 標準

問題

地域包括支援センターの観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 高齢者の虐待疑い・介護予防・家族の不安は地域包括支援センターへ相談する。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：A. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：地域包括支援センターでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q006 介護保険 | 4択 | 標準

問題

ケアマネジャーに関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- B. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- C. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

答え・解説

正答：D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q007 介護保険 | 4択 | 基礎

問題

居宅サービスに関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- B. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- C. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- D. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。

答え・解説

正答：A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q008 介護保険 | 4択 | 応用

問題

施設サービスを支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 計画は職員の作業負担だけを書き、本人の目標は含めない。
- B. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- C. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

答え・解説

正答：D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q009 介護保険 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、地域密着型サービスの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 認知症対応型共同生活介護や小規模多機能型居宅介護など、身近な地域での生活を支えるサービス。
- B. 介護を社会全体で支えるための社会保険制度で、市町村と特別区が保険者となる。
- C. 高齢者への虐待防止、養護者支援、通報対応などを定めた法律。
- D. 病気やけがに対し、医療費負担を社会的に支える制度。

答え・解説

正答：A. 認知症対応型共同生活介護や小規模多機能型居宅介護など、身近な地域での生活を支えるサービス。

超簡単な解説：地域密着型サービスは、認知症対応型共同生活介護や小規模多機能型居宅介護など、身近な地域での生活を支えるサービス。

Q010 権利擁護 | 4択 | 標準

問題

身体機能が低下した利用者で、成年後見制度を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 虐待の疑いを発見した場合、個人判断で放置せず市町村等へつなぐ。
- B. 通帳管理や福祉サービス手続きに困る人を社会福祉協議会等の相談につなぐ。
- C. 金銭管理や契約に不安がある場合、相談機関につなぐ。
- D. 受診控えが疑われる場合、医療保険や相談窓口の利用を確認する。

答え・解説

正答：C. 金銭管理や契約に不安がある場合、相談機関につなぐ。

超簡単な解説：成年後見制度では、金銭管理や契約に不安がある場合、相談機関につなぐ。この対応が適切である。

Q011 権利擁護 | 4択 | 標準

問題

介護実践で日常生活自立支援事業を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 軽度の判断能力低下でも生活上の権利を支えられるため。
- B. 記録は事故が起きた場合だけ作成すればよいため。
- C. 年齢だけでなく原因疾患が給付要件に関わるため。
- D. 年齢や状態により利用制度が異なるため。

答え・解説

正答：A. 軽度の判断能力低下でも生活上の権利を支えられるため。

超簡単な解説：日常生活自立支援事業を重視する理由は、軽度の判断能力低下でも生活上の権利を支えられるため。

Q012 公的扶助 | 4択 | 応用

問題

Fさんは生活保護制度に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- B. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- C. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- D. 本人の訴えを受け止め、生活費や医療費に困る相談は、福祉事務所など適切な窓口につなぐ。

答え・解説

正答：D. 本人の訴えを受け止め、生活費や医療費に困る相談は、福祉事務所など適切な窓口につなぐ。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、生活保護制度の観点から本人中心に対応する。

Q013 障害福祉 | 4択 | 標準

問題

障害者総合支援法の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法続ける。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 介護保険だけでなく障害福祉サービスの対象が相談支援専門員へ確認する。

答え・解説

正答：B. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法続ける。

超簡単な解説：障害者総合支援法では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q014 権利擁護 | 4択 | 標準

問題

障害者差別解消法に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- B. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- D. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。

答え・解説

正答：C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q015 権利擁護 | 4択 | 基礎

問題

高齢者虐待防止法に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- B. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- C. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

答え・解説

正答：D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q016 社会保障 | 4択 | 応用

問題

医療保険制度を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- B. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- C. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- D. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。

答え・解説

正答：A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q017 社会保障 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、年金制度の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 認知症対応型共同生活介護や小規模多機能型居宅介護など、身近な地域での生活を支えるサービス。
- B. 高齢・障害・遺族などの生活保障を目的とする公的年金制度。
- C. 制度・分野ごとの縦割りを超え、住民や多機関が支え合う社会を目指す考え方。
- D. 訪問介護、通所介護、短期入所生活介護など、在宅生活を支える介護保険サービス。

答え・解説

正答：B. 高齢・障害・遺族などの生活保障を目的とする公的年金制度。

超簡単な解説：年金制度は、高齢・障害・遺族などの生活保障を目的とする公的年金制度。

Q018 地域福祉 | 4択 | 標準

問題

身体機能が低下した利用者で、地域共生社会を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 住み慣れた地域で暮らしたい希望に対し、地域密着型サービスの活用を検討する。
- B. 生活費や医療費に困る相談は、福祉事務所など適切な窓口につなぐ。
- C. 高齢・障害・困窮が重なる相談を、一つの制度だけで切らず多機関連携につなぐ。
- D. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

答え・解説

正答：C. 高齢・障害・困窮が重なる相談を、一つの制度だけで切らず多機関連携につなぐ。

超簡単な解説：地域共生社会では、高齢・障害・困窮が重なる相談を、一つの制度だけで切らず多機関連携につなぐ。この対応が適切である。

Q019 社会保障 | 4択 | 応用

問題

Aさんは介護保険制度に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- B. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- C. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- D. 本人の訴えを受け止め、制度説明では、利用者負担や要介護認定の流れを確認して案内する。

答え・解説

正答：D. 本人の訴えを受け止め、制度説明では、利用者負担や要介護認定の流れを確認して案内する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、介護保険制度の観点から本人中心に対応する。

Q020 介護保険 | 4択 | 標準

問題

第1号被保険者の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 65歳以上の利用者には、要介護認定により介護サービス利用を検討できると説明する。
- C. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：C. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：第1号被保険者では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q021 介護保険 | 4択 | 標準

問題

第2号被保険者に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- B. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- C. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- D. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。

答え・解説

正答：A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q022 介護保険 | 4択 | 基礎

問題

要介護認定に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- B. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- C. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- D. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。

答え・解説

正答：A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q023 地域支援 | 4択 | 応用

問題

地域包括支援センターを支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- B. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- C. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- D. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。

答え・解説

正答：A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q024 介護保険 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、ケアマネジャーの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 高齢者への虐待防止、養護者支援、通報対応などを定めた法律。
- B. 要介護者等の課題を把握し、ケアプラン作成やサービス調整を行う専門職。
- C. 憲法に基づき、困窮の程度に応じて最低限度の生活を保障し自立を助長する制度。
- D. 病気やけがに対し、医療費負担を社会的に支える制度。

答え・解説

正答：B. 要介護者等の課題を把握し、ケアプラン作成やサービス調整を行う専門職。

超簡単な解説：ケアマネジャーは、要介護者等の課題を把握し、ケアプラン作成やサービス調整を行う専門職。

Q025 介護保険 | 4択 | 標準

問題

認知機能に不安がある利用者で、居宅サービスを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 入所相談では施設の目的や対象者の違いを確認するよう促す。
- B. 筆談や読み上げなど、必要な配慮を本人に確認して対応する。
- C. 在宅生活を続けたい希望に対し、訪問・通所・短期入所の組合せを検討する。
- D. 65歳以上の利用者には、要介護認定により介護サービス利用を検討できると説明する。

答え・解説

正答：C. 在宅生活を続けたい希望に対し、訪問・通所・短期入所の組合せを検討する。

超簡単な解説：居宅サービスでは、在宅生活を続けたい希望に対し、訪問・通所・短期入所の組合せを検討する。この対応が適切である。

Q026 介護保険 | 4択 | 標準

問題

介護実践で施設サービスを重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 軽度の判断能力低下でも生活上の権利を支えられるため。
- B. 施設ごとに役割が異なり、本人の状態に合う選択が必要だから。
- C. 複合的課題には包括的な支援が必要だから。
- D. 本人の生活の場を維持しながら必要な支援を受けるため。

答え・解説

正答：B. 施設ごとに役割が異なり、本人の状態に合う選択が必要だから。

超簡単な解説：施設サービスを重視する理由は、施設ごとに役割が異なり、本人の状態に合う選択が必要だから。

Q027 介護保険 | 4択 | 応用

問題

Cさんは地域密着型サービスに関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- B. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- C. 本人の訴えを受け止め、住み慣れた地域で暮らしたい希望に対し、地域密着型サービスの活用を検討する。
- D. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。

答え・解説

正答：C. 本人の訴えを受け止め、住み慣れた地域で暮らしたい希望に対し、地域密着型サービスの活用を検討する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、地域密着型サービスの観点から本人中心に対応する。

Q028 権利擁護 | 4択 | 標準

問題

成年後見制度の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 金銭管理や契約に不安がある場合、相談機関につなぐ。
- C. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：C. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

超簡単な解説：成年後見制度では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q029 権利擁護 | 4択 | 標準

問題

日常生活自立支援事業に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- B. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- C. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

答え・解説

正答：D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q030 公的扶助 | 4択 | 基礎

問題

生活保護制度に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- B. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- C. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

答え・解説

正答：D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q031 障害福祉 | 4択 | 応用

問題

障害者総合支援法を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- C. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- D. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。

答え・解説

正答：B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q032 権利擁護 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、障害者差別解消法の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 障害を理由とする不当な差別的取扱いの禁止と合理的配慮の提供を求める法律。
- B. 障害福祉サービスや地域生活支援事業などを通じ、障害者の地域生活を支える法律。
- C. 40歳以上65歳未満の医療保険加入者で、特定疾病により要介護・要支援状態となった場合に給付対象となる。
- D. 高齢・障害・遺族などの生活保障を目的とする公的年金制度。

答え・解説

正答：A. 障害を理由とする不当な差別的取扱いの禁止と合理的配慮の提供を求める法律。

超簡単な解説：障害者差別解消法は、障害を理由とする不当な差別的取扱いの禁止と合理的配慮の提供を求める法律。

Q033 権利擁護 | 4択 | 標準

問題

施設入所中の利用者で、高齢者虐待防止法を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 虐待の疑いを発見した場合、個人判断で放置せず市町村等へつなぐ。
- B. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- C. 受診控えが疑われる場合、医療保険や相談窓口の利用を確認する。
- D. 高齢者の虐待疑い・介護予防・家族の不安は地域包括支援センターへ相談する。

答え・解説

正答：A. 虐待の疑いを発見した場合、個人判断で放置せず市町村等へつなぐ。

超簡単な解説：高齢者虐待防止法では、虐待の疑いを発見した場合、個人判断で放置せず市町村等へつなぐ。この対応が適切である。

Q034 社会保障 | 4択 | 標準

問題

介護実践で医療保険制度を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人が不安を訴えても、支援計画を変更してはならないため。
- B. 経済的困窮は健康と生活継続に大きく影響するため。
- C. 障害の有無にかかわらず社会参加の機会を保障するため。
- D. 医療へのアクセスは生活と健康を支える基盤だから。

答え・解説

正答：D. 医療へのアクセスは生活と健康を支える基盤だから。

超簡単な解説：医療保険制度を重視する理由は、医療へのアクセスは生活と健康を支える基盤だから。

Q035 社会保障 | 4択 | 応用

問題

Eさんは年金制度に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- B. 本人の訴えを受け止め、収入不安がある高齢者には、年金や福祉制度の相談窓口を案内する。
- C. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- D. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。

答え・解説

正答：B. 本人の訴えを受け止め、収入不安がある高齢者には、年金や福祉制度の相談窓口を案内する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、年金制度の観点から本人中心に対応する。

Q036 地域福祉 | 4択 | 標準

問題

地域共生社会の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 高齢・障害・困窮が重なる相談を、一つの制度だけで切らず多機関連携につなぐ。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

答え・解説

正答：D. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：地域共生社会では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q037 社会保障 | 4択 | 基礎

問題

介護保険制度に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。
- B. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- D. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。

答え・解説

正答：C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q038 介護保険 | 4択 | 応用

問題

第1号被保険者を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 計画は職員の作業負担だけを書き、本人の目標は含めない。
- B. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- C. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

答え・解説

正答：D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q039 介護保険 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、第2号被保険者の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 訪問介護、通所介護、短期入所生活介護など、在宅生活を支える介護保険サービス。
- B. 40歳以上65歳未満の医療保険加入者で、特定疾病により要介護・要支援状態となった場合に給付対象となる。
- C. 介護保険における65歳以上の被保険者。
- D. 判断能力に不安のある人へ福祉サービス利用援助や日常的金銭管理などを行う事業。

答え・解説

正答：B. 40歳以上65歳未満の医療保険加入者で、特定疾病により要介護・要支援状態となった場合に給付対象となる。

超簡単な解説：第2号被保険者は、40歳以上65歳未満の医療保険加入者で、特定疾病により要介護・要支援状態となった場合に給付対象となる。

Q040 介護保険 | 4択 | 標準

問題

家族と同居する利用者で、要介護認定を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 住み慣れた地域で暮らしたい希望に対し、地域密着型サービスの活用を検討する。
- B. 生活費や医療費に困る相談は、福祉事務所など適切な窓口につなぐ。
- C. 申請、認定調査、主治医意見書、審査判定の流れを大まかに説明する。
- D. 65歳以上の利用者には、要介護認定により介護サービス利用を検討できると説明する。

答え・解説

正答：C. 申請、認定調査、主治医意見書、審査判定の流れを大まかに説明する。

超簡単な解説：要介護認定では、申請、認定調査、主治医意見書、審査判定の流れを大まかに説明する。この対応が適切である。

Q041 地域支援 | 4択 | 標準

問題

介護実践で地域包括支援センターを重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 早期発見と通報が高齢者の生命・身体・財産を守るため。
- B. 地域での生活継続を多面的に支える中核機関だから。
- C. 施設ごとに役割が異なり、本人の状態に合う選択が必要だから。
- D. 安全確認は医療職だけが行うため。

答え・解説

正答：B. 地域での生活継続を多面的に支える中核機関だから。

超簡単な解説：地域包括支援センターを重視する理由は、地域での生活継続を多面的に支える中核機関だから。

Q042 介護保険 | 4択 | 応用

問題

Fさんはケアマネジャーに関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人の訴えを受け止め、サービス変更が必要な変化を記録し、ケアマネジャーへ共有する。
- B. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- C. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- D. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。

答え・解説

正答：A. 本人の訴えを受け止め、サービス変更が必要な変化を記録し、ケアマネジャーへ共有する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、ケアマネジャーの観点から本人中心に対応する。

Q043 介護保険 | 4択 | 標準

問題

居宅サービスの観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 在宅生活を続けたい希望に対し、訪問・通所・短期入所の組合せを検討する。
- B. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：B. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：居宅サービスでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q044 介護保険 | 4択 | 標準

問題

施設サービスに関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- B. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- C. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- D. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。

答え・解説

正答：B. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q045 介護保険 | 4択 | 基礎

問題

地域密着型サービスに関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- B. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけが続ける。
- C. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

答え・解説

正答：D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q046 権利擁護 | 4択 | 応用

問題

成年後見制度を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- B. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- C. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- D. 計画は職員の作業分だけを書き、本人の目標は含めない。

答え・解説

正答：A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q047 権利擁護 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、日常生活自立支援事業の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 高齢者への虐待防止、養護者支援、通報対応などを定めた法律。
- B. 認知症対応型共同生活介護や小規模多機能型居宅介護など、身近な地域での生活を支えるサービス。
- C. 判断能力に不安のある人へ福祉サービス利用援助や日常的金銭管理などを行う事業。
- D. 病気やけがに対し、医療費負担を社会的に支える制度。

答え・解説

正答：C. 判断能力に不安のある人へ福祉サービス利用援助や日常的金銭管理などを行う事業。

超簡単な解説：日常生活自立支援事業は、判断能力に不安のある人へ福祉サービス利用援助や日常的金銭管理などを行う事業。

Q048 公的扶助 | 4択 | 標準

問題

一人暮らしの利用者で、生活保護制度を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 生活費や医療費に困る相談は、福祉事務所など適切な窓口につなぐ。
- B. 金銭管理や契約に不安がある場合、相談機関につなぐ。
- C. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- D. 65歳以上の利用者には、要介護認定により介護サービス利用を検討できると説明する。

答え・解説

正答：A. 生活費や医療費に困る相談は、福祉事務所など適切な窓口につなぐ。

超簡単な解説：生活保護制度では、生活費や医療費に困る相談は、福祉事務所など適切な窓口につなぐ。この対応が適切である。

Q049 障害福祉 | 4択 | 標準

問題

介護実践で障害者総合支援法を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 複合的課題には包括的な支援が必要だから。
- B. 障害の有無にかかわらず社会参加の機会を保障するため。
- C. 年齢や状態により利用制度が異なるため。
- D. 必要なサービス量や利用できるサービスに関わるため。

答え・解説

正答：C. 年齢や状態により利用制度が異なるため。

超簡単な解説：障害者総合支援法を重視する理由は、年齢や状態により利用制度が異なるため。

Q050 権利擁護 | 4択 | 応用

問題

Bさんは障害者差別解消法に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- B. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- C. 本人の訴えを受け止め、筆談や読み上げなど、必要な配慮を本人に確認して対応する。
- D. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。

答え・解説

正答：C. 本人の訴えを受け止め、筆談や読み上げなど、必要な配慮を本人に確認して対応する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、障害者差別解消法の観点から本人中心に対応する。

Q051 権利擁護 | 4択 | 標準

問題

高齢者虐待防止法の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- C. 虐待の疑いを発見した場合、個人判断で放置せず市町村等へつなぐ。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：B. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

超簡単な解説：高齢者虐待防止法では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q052 社会保障 | 4択 | 標準

問題

医療保険制度に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- B. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- D. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。

答え・解説

正答：C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q053 社会保障 | 4択 | 基礎

問題

年金制度に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- B. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- C. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- D. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。

答え・解説

正答：B. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q054 地域福祉 | 4択 | 応用

問題

地域共生社会を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- B. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- C. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

答え・解説

正答：D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q055 社会保障 | 4択 | 標準

問題

家族と同居する利用者で、介護保険制度を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 高齢者の虐待疑い・介護予防・家族の不安は地域包括支援センターへ相談する。
- B. 制度説明では、利用者負担や要介護認定の流れを確認して案内する。
- C. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- D. 金銭管理や契約に不安がある場合、相談機関につなぐ。

答え・解説

正答：B. 制度説明では、利用者負担や要介護認定の流れを確認して案内する。

超簡単な解説：介護保険制度では、制度説明では、利用者負担や要介護認定の流れを確認して案内する。この対応が適切である。

Q056 介護保険 | 4択 | 標準

問題

介護実践で第1号被保険者を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 安全確認は医療職だけが行うため。
- B. 地域での生活継続を多面的に支える中核機関だから。
- C. 被保険者区分により保険料や給付要件の理解が必要になるため。
- D. 生活課題に合ったサービス調整には日常情報が不可欠だから。

答え・解説

正答：C. 被保険者区分により保険料や給付要件の理解が必要になるため。

超簡単な解説：第1号被保険者を重視する理由は、被保険者区分により保険料や給付要件の理解が必要になるため。

Q057 介護保険 | 4択 | 応用

問題

Cさんは第2号被保険者に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人の訴えを受け止め、40～64歳の相談では、特定疾病該当の有無を確認するよう関係職種につなぐ。
- B. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- C. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- D. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。

答え・解説

正答：A. 本人の訴えを受け止め、40～64歳の相談では、特定疾病該当の有無を確認するよう関係職種につなぐ。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、第2号被保険者の観点から本人中心に対応する。

Q058 介護保険 | 4択 | 標準

問題

要介護認定の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 申請、認定調査、主治医意見書、審査判定の流れを大まかに説明する。
- C. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：C. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

超簡単な解説：要介護認定では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q059 地域支援 | 4択 | 標準

問題

地域包括支援センターに関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- B. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- C. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- D. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。

答え・解説

正答：A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q060 介護保険 | 4択 | 基礎

問題

ケアマネジャーに関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- B. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- C. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

答え・解説

正答：D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q061 介護保険 | 4択 | 応用

問題

居宅サービスを支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- B. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- D. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。

答え・解説

正答：C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q062 介護保険 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、施設サービスの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 40歳以上65歳未満の医療保険加入者で、特定疾病により要介護・要支援状態となった場合に給付対象となる。
- B. 障害福祉サービスや地域生活支援事業などを通じ、障害者の地域生活を支える法律。
- C. 介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院などで提供されるサービス。
- D. 障害を理由とする不当な差別的取扱いの禁止と合理的配慮の提供を求める法律。

答え・解説

正答：C. 介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院などで提供されるサービス。

超簡単な解説：施設サービスは、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院などで提供されるサービス。

Q063 介護保険 | 4択 | 標準

問題

身体機能が低下した利用者で、地域密着型サービスを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 住み慣れた地域で暮らしたい希望に対し、地域密着型サービスの活用を検討する。
- B. 介護保険だけでなく障害福祉サービスの対象が相談支援専門員へ確認する。
- C. 金銭管理や契約に不安がある場合、相談機関につなぐ。
- D. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

答え・解説

正答：A. 住み慣れた地域で暮らしたい希望に対し、地域密着型サービスの活用を検討する。

超簡単な解説：地域密着型サービスでは、住み慣れた地域で暮らしたい希望に対し、地域密着型サービスの活用を検討する。この対応が適切である。

Q064 権利擁護 | 4択 | 標準

問題

介護実践で成年後見制度を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 障害の有無にかかわらず社会参加の機会を保障するため。
- B. 医療へのアクセスは生活と健康を支える基盤だから。
- C. 本人の権利と財産を守り、生活上の不利益を防ぐため。
- D. 本人の生活の場を維持しながら必要な支援を受けるため。

答え・解説

正答：C. 本人の権利と財産を守り、生活上の不利益を防ぐため。

超簡単な解説：成年後見制度を重視する理由は、本人の権利と財産を守り、生活上の不利益を防ぐため。

Q065 権利擁護 | 4択 | 応用

問題

Eさんは日常生活自立支援事業に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- B. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- C. 本人の訴えを受け止め、通帳管理や福祉サービス手続きに困る人を社会福祉協議会等の相談につなぐ。
- D. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。

答え・解説

正答：C. 本人の訴えを受け止め、通帳管理や福祉サービス手続きに困る人を社会福祉協議会等の相談につなぐ。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、日常生活自立支援事業の観点から本人中心に対応する。

Q066 公的扶助 | 4択 | 標準

問題

生活保護制度の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 生活費や医療費に困る相談は、福祉事務所など適切な窓口につなぐ。

答え・解説

正答：B. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

超簡単な解説：生活保護制度では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q067 障害福祉 | 4択 | 標準

問題

障害者総合支援法に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- B. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- C. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- D. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。

答え・解説

正答：A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q068 権利擁護 | 4択 | 基礎

問題

障害者差別解消法に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- B. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。
- C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- D. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。

答え・解説

正答：C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q069 権利擁護 | 4択 | 応用

問題

高齢者虐待防止法を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- B. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- C. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

答え・解説

正答：D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q070 社会保障 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、医療保険制度の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 介護保険における65歳以上の被保険者。
- B. 病気やけがに対し、医療費負担を社会的に支える制度。
- C. 介護サービスの必要度を判定するため、市町村が行う認定手続き。
- D. 高齢・障害・遺族などの生活保障を目的とする公的年金制度。

答え・解説

正答：B. 病気やけがに対し、医療費負担を社会的に支える制度。

超簡単な解説：医療保険制度は、病気やけがに対し、医療費負担を社会的に支える制度。

Q071 社会保障 | 4択 | 標準

問題

通所介護を利用する高齢者で、年金制度を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 在宅生活を続けたい希望に対し、訪問・通所・短期入所の組合せを検討する。
- B. 収入不安がある高齢者には、年金や福祉制度の相談窓口を案内する。
- C. 住み慣れた地域で暮らしたい希望に対し、地域密着型サービスの活用を検討する。
- D. サービス変更が必要な変化を記録し、ケアマネジャーへ共有する。

答え・解説

正答：B. 収入不安がある高齢者には、年金や福祉制度の相談窓口を案内する。

超簡単な解説：年金制度では、収入不安がある高齢者には、年金や福祉制度の相談窓口を案内する。この対応が適切である。

Q072 地域福祉 | 4択 | 標準

問題

介護実践で地域共生社会を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 複合的課題には包括的な支援が必要だから。
- B. 施設ごとに役割が異なり、本人の状態に合う選択が必要だから。
- C. 早期発見と通報が高齢者の生命・身体・財産を守るため。
- D. 家族の希望は常に本人の意思より優先されるため。

答え・解説

正答：A. 複合的課題には包括的な支援が必要だから。

超簡単な解説：地域共生社会を重視する理由は、複合的課題には包括的な支援が必要だから。

Q073 社会保障 | 4択 | 標準

問題

介護保険制度の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 制度説明では、利用者負担や要介護認定の流れを確認して案内する。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

答え・解説

正答：D. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：介護保険制度では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q074 介護保険 | 4択 | 標準

問題

第1号被保険者に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- B. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- C. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- D. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。

答え・解説

正答：A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q075 介護保険 | 4択 | 基礎

問題

第2号被保険者に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけが続ける。
- B. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- C. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- D. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。

答え・解説

正答：B. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q076 介護保険 | 4択 | 応用

問題

要介護認定を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- B. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- C. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- D. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。

答え・解説

正答：A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q077 地域支援 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、地域包括支援センターの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 障害を理由とする不当な差別的取扱いの禁止と合理的配慮の提供を求める法律。
- B. 要介護者等の課題を把握し、ケアプラン作成やサービス調整を行う専門職。
- C. 高齢者の総合相談、権利擁護、介護予防ケアマネジメントなどを担う地域の相談機関。
- D. 介護保険における65歳以上の被保険者。

答え・解説

正答：C. 高齢者の総合相談、権利擁護、介護予防ケアマネジメントなどを担う地域の相談機関。

超簡単な解説：地域包括支援センターは、高齢者の総合相談、権利擁護、介護予防ケアマネジメントなどを担う地域の相談機関。

Q078 介護保険 | 4択 | 標準

問題

家族と同居する利用者で、ケアマネジャーを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 収入不安がある高齢者には、年金や福祉制度の相談窓口を案内する。
- B. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- C. 制度説明では、利用者負担や要介護認定の流れを確認して案内する。
- D. サービス変更が必要な変化を記録し、ケアマネジャーへ共有する。

答え・解説

正答：D. サービス変更が必要な変化を記録し、ケアマネジャーへ共有する。

超簡単な解説：ケアマネジャーでは、サービス変更が必要な変化を記録し、ケアマネジャーへ共有する。この対応が適切である。

Q079 介護保険 | 4択 | 標準

問題

介護実践で居宅サービスを重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 障害の有無にかかわらず社会参加の機会を保障するため。
- B. 記録は事故が起きた場合だけ作成すればよいため。
- C. 本人の生活の場を維持しながら必要な支援を受けるため。
- D. 被保険者区分により保険料や給付要件の理解が必要になるため。

答え・解説

正答：C. 本人の生活の場を維持しながら必要な支援を受けるため。

超簡単な解説：居宅サービスを重視する理由は、本人の生活の場を維持しながら必要な支援を受けるため。

Q080 介護保険 | 4択 | 応用

問題

Bさんは施設サービスに関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- B. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- C. 本人の訴えを受け止め、入所相談では施設の目的や対象者の違いを確認するよう促す。
- D. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。

答え・解説

正答：C. 本人の訴えを受け止め、入所相談では施設の目的や対象者の違いを確認するよう促す。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、施設サービスの観点から本人中心に対応する。

Q081 介護保険 | 4択 | 標準

問題

地域密着型サービスの観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 住み慣れた地域で暮らしたい希望に対し、地域密着型サービスの活用を検討する。
- D. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

答え・解説

正答：D. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：地域密着型サービスでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q082 権利擁護 | 4択 | 標準

問題

成年後見制度に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- B. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- C. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- D. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。

答え・解説

正答：A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q083 権利擁護 | 4択 | 基礎

問題

日常生活自立支援事業に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- B. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- D. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。

答え・解説

正答：C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q084 公的扶助 | 4択 | 応用

問題

生活保護制度を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- B. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- D. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。

答え・解説

正答：C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q085 障害福祉 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、障害者総合支援法の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 判断能力に不安のある人へ福祉サービス利用援助や日常的金銭管理などを行う事業。
- B. 障害福祉サービスや地域生活支援事業などを通じ、障害者の地域生活を支える法律。
- C. 介護を社会全体で支えるための社会保険制度で、市町村と特別区が保険者となる。
- D. 介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院などで提供されるサービス。

答え・解説

正答：B. 障害福祉サービスや地域生活支援事業などを通じ、障害者の地域生活を支える法律。

超簡単な解説：障害者総合支援法は、障害福祉サービスや地域生活支援事業などを通じ、障害者の地域生活を支える法律。

Q086 権利擁護 | 4択 | 標準

問題

一人暮らしの利用者で、障害者差別解消法を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- B. 通帳管理や福祉サービス手続きに困る人を社会福祉協議会等の相談につなぐ。
- C. 入所相談では施設の目的や対象者の違いを確認するよう促す。
- D. 筆談や読み上げなど、必要な配慮を本人に確認して対応する。

答え・解説

正答：D. 筆談や読み上げなど、必要な配慮を本人に確認して対応する。

超簡単な解説：障害者差別解消法では、筆談や読み上げなど、必要な配慮を本人に確認して対応する。この対応が適切である。

Q087 権利擁護 | 4択 | 標準

問題

介護実践で高齢者虐待防止法を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 地域とのつながりを保ちながら支援を受けられるため。
- B. 生活課題に合ったサービス調整には日常情報が不可欠だから。
- C. 本人の権利と財産を守り、生活上の不利益を防ぐため。
- D. 早期発見と通報が高齢者の生命・身体・財産を守るため。

答え・解説

正答：D. 早期発見と通報が高齢者の生命・身体・財産を守るため。

超簡単な解説：高齢者虐待防止法を重視する理由は、早期発見と通報が高齢者の生命・身体・財産を守るため。

Q088 社会保障 | 4択 | 応用

問題

Dさんは医療保険制度に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- B. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- C. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- D. 本人の訴えを受け止め、受診控えが疑われる場合、医療保険や相談窓口の利用を確認する。

答え・解説

正答：D. 本人の訴えを受け止め、受診控えが疑われる場合、医療保険や相談窓口の利用を確認する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、医療保険制度の観点から本人中心に対応する。

Q089 社会保障 | 4択 | 標準

問題

年金制度の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 収入不安がある高齢者には、年金や福祉制度の相談窓口を案内する。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

答え・解説

正答：D. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：年金制度では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q090 地域福祉 | 4択 | 標準

問題

地域共生社会に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- B. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- C. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- D. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。

答え・解説

正答：B. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q091 社会保障 | 4択 | 応用

問題

介護保険制度を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- B. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- C. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- D. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。

答え・解説

正答：A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q092 介護保険 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、第1号被保険者の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 訪問介護、通所介護、短期入所生活介護など、在宅生活を支える介護保険サービス。
- B. 制度・分野ごとの縦割りを超え、住民や多機関が支え合う社会を目指す考え方。
- C. 介護保険における65歳以上の被保険者。
- D. 介護サービスの必要度を判定するため、市町村が行う認定手続き。

答え・解説

正答：C. 介護保険における65歳以上の被保険者。

超簡単な解説：第1号被保険者は、介護保険における65歳以上の被保険者。

Q093 介護保険 | 4択 | 標準

問題

退院後の生活を再開した利用者で、第2号被保険者を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 40～64歳の相談では、特定疾病該当の有無を確認するよう関係職種につなぐ。
- B. 受診控えが疑われる場合、医療保険や相談窓口の利用を確認する。
- C. 申請、認定調査、主治医意見書、審査判定の流れを大まかに説明する。
- D. 虐待の疑いを発見した場合、個人判断で放置せず市町村等へつなぐ。

答え・解説

正答：A. 40～64歳の相談では、特定疾病該当の有無を確認するよう関係職種につなぐ。

超簡単な解説：第2号被保険者では、40～64歳の相談では、特定疾病該当の有無を確認するよう関係職種につなぐ。この対応が適切である。

Q094 介護保険 | 4択 | 標準

問題

介護実践で要介護認定を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の権利と財産を守り、生活上の不利益を防ぐため。
- B. 経済的困窮は健康と生活継続に大きく影響するため。
- C. 必要なサービス量や利用できるサービスに関わるため。
- D. 早期発見と通報が高齢者の生命・身体・財産を守るため。

答え・解説

正答：C. 必要なサービス量や利用できるサービスに関わるため。

超簡単な解説：要介護認定を重視する理由は、必要なサービス量や利用できるサービスに関わるため。

Q095 地域支援 | 4択 | 応用

問題

Eさんは地域包括支援センターに関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人の訴えを受け止め、高齢者の虐待疑い・介護予防・家族の不安は地域包括支援センターへ相談する。
- B. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- C. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- D. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。

答え・解説

正答：A. 本人の訴えを受け止め、高齢者の虐待疑い・介護予防・家族の不安は地域包括支援センターへ相談する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、地域包括支援センターの観点から本人中心に対応する。

Q096 介護保険 | 4択 | 標準

問題

ケアマネジャーの観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. サービス変更が必要な変化を記録し、ケアマネジャーへ共有する。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：ケアマネジャーでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q097 介護保険 | 4択 | 標準

問題

居宅サービスに関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- B. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- C. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- D. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。

答え・解説

正答：B. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q098 介護保険 | 4択 | 基礎

問題

施設サービスに関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- B. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- C. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- D. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。

答え・解説

正答：A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q099 介護保険 | 4択 | 応用

問題

地域密着型サービスを支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- C. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- D. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。

答え・解説

正答：B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q100 権利擁護 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、成年後見制度の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 40歳以上65歳未満の医療保険加入者で、特定疾病により要介護・要支援状態となった場合に給付対象となる。
- B. 高齢・障害・遺族などの生活保障を目的とする公的年金制度。
- C. 介護保険における65歳以上の被保険者。
- D. 判断能力が不十分な人の財産管理や契約を法律面から支援する制度。

答え・解説

正答：D. 判断能力が不十分な人の財産管理や契約を法律面から支援する制度。

超簡単な解説：成年後見制度は、判断能力が不十分な人の財産管理や契約を法律面から支援する制度。

Q101 権利擁護 | 4択 | 標準

問題

認知機能に不安がある利用者で、日常生活自立支援事業を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- B. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- C. サービス変更が必要な変化を記録し、ケアマネジャーへ共有する。
- D. 通帳管理や福祉サービス手続きに困る人を社会福祉協議会等の相談につなぐ。

答え・解説

正答：D. 通帳管理や福祉サービス手続きに困る人を社会福祉協議会等の相談につなぐ。

超簡単な解説：日常生活自立支援事業では、通帳管理や福祉サービス手続きに困る人を社会福祉協議会等の相談につなぐ。この対応が適切である。

Q102 公的扶助 | 4択 | 標準

問題

介護実践で生活保護制度を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 経済的困窮は健康と生活継続に大きく影響するため。
- B. 所得保障は生活継続と介護サービス利用に関わるため。
- C. 施設ごとに役割が異なり、本人の状態に合う選択が必要だから。
- D. 家族の希望は常に本人の意思より優先されるため。

答え・解説

正答：A. 経済的困窮は健康と生活継続に大きく影響するため。

超簡単な解説：生活保護制度を重視する理由は、経済的困窮は健康と生活継続に大きく影響するため。

Q103 障害福祉 | 4択 | 応用

問題

Aさんは障害者総合支援法に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- B. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- C. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- D. 本人の訴えを受け止め、介護保険だけでなく障害福祉サービスの対象が相談支援専門員へ確認する。

答え・解説

正答：D. 本人の訴えを受け止め、介護保険だけでなく障害福祉サービスの対象が相談支援専門員へ確認する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、障害者総合支援法の観点から本人中心に対応する。

Q104 権利擁護 | 4択 | 標準

問題

障害者差別解消法の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 筆談や読み上げなど、必要な配慮を本人に確認して対応する。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

答え・解説

正答：D. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：障害者差別解消法では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q105 権利擁護 | 4択 | 標準

問題

高齢者虐待防止法に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- B. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- C. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- D. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。

答え・解説

正答：A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q106 社会保障 | 4択 | 基礎

問題

医療保険制度に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。
- B. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- D. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。

答え・解説

正答：C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q107 社会保障 | 4択 | 応用

問題

年金制度を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- B. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- D. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。

答え・解説

正答：C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q108 地域福祉 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、地域共生社会の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 病気やけがに対し、医療費負担を社会的に支える制度。
- B. 介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院などで提供されるサービス。
- C. 障害を理由とする不当な差別的取扱いの禁止と合理的配慮の提供を求める法律。
- D. 制度・分野ごとの縦割りを超え、住民や多機関が支え合う社会を目指す考え方。

答え・解説

正答：D. 制度・分野ごとの縦割りを超え、住民や多機関が支え合う社会を目指す考え方。

超簡単な解説：地域共生社会は、制度・分野ごとの縦割りを超え、住民や多機関が支え合う社会を目指す考え方。

Q109 社会保障 | 4択 | 標準

問題

介護実践で介護保険制度を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 制度理解は適切なサービス利用と権利擁護につながるため。
- B. 必要なサービス量や利用できるサービスに関わるため。
- C. 介護者の作業時間を短縮することが、常に最優先になるため。
- D. 本人のできる力より、すべて介助することが自立支援になるため。

答え・解説

正答：A. 制度理解は適切なサービス利用と権利擁護につながるため。

超簡単な解説：介護保険制度を重視する理由は、制度理解は適切なサービス利用と権利擁護につながるため。

Q110 介護保険 | 4択 | 応用

問題

Bさんは第1号被保険者に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- B. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- C. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- D. 本人の訴えを受け止め、65歳以上の利用者には、要介護認定により介護サービス利用を検討できると説明する。

答え・解説

正答：D. 本人の訴えを受け止め、65歳以上の利用者には、要介護認定により介護サービス利用を検討できると説明する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、第1号被保険者の観点から本人中心に対応する。

Q111 介護保険 | 4択 | 標準

問題

第2号被保険者の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 40～64歳の相談では、特定疾病該当の有無を確認するよう関係職種につなぐ。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：C. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

超簡単な解説：第2号被保険者では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q112 介護保険 | 4択 | 標準

問題

要介護認定に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- B. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- C. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

答え・解説

正答：D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q113 地域支援 | 4択 | 基礎

問題

地域包括支援センターに関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- B. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。
- C. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- D. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。

答え・解説

正答：A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q114 介護保険 | 4択 | 応用

問題

ケアマネジャーを支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- B. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- D. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。

答え・解説

正答：C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q115 介護保険 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、居宅サービスの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 判断能力に不安のある人へ福祉サービス利用援助や日常的な金銭管理などを行う事業。
- B. 憲法に基づき、困窮の程度に応じて最低限度の生活を保障し自立を助長する制度。
- C. 障害を理由とする不当な差別的取扱いの禁止と合理的配慮の提供を求める法律。
- D. 訪問介護、通所介護、短期入所生活介護など、在宅生活を支える介護保険サービス。

答え・解説

正答：D. 訪問介護、通所介護、短期入所生活介護など、在宅生活を支える介護保険サービス。

超簡単な解説：居宅サービスは、訪問介護、通所介護、短期入所生活介護など、在宅生活を支える介護保険サービス。

Q116 介護保険 | 4択 | 標準

問題

在宅で生活する利用者と、施設サービスを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- B. 虐待の疑いを発見した場合、個人判断で放置せず市町村等へつなぐ。
- C. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法が続ける。
- D. 入所相談では施設の目的や対象者の違いを確認するよう促す。

答え・解説

正答：D. 入所相談では施設の目的や対象者の違いを確認するよう促す。

超簡単な解説：施設サービスでは、入所相談では施設の目的や対象者の違いを確認するよう促す。この対応が適切である。

Q117 介護保険 | 4択 | 標準

問題

介護実践で地域密着型サービスを重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 地域とのつながりを保ちながら支援を受けられるため。
- B. 施設ごとに役割が異なり、本人の状態に合う選択が必要だから。
- C. 所得保障は生活継続と介護サービス利用に関わるため。
- D. 軽度の判断能力低下でも生活上の権利を支えられるため。

答え・解説

正答：A. 地域とのつながりを保ちながら支援を受けられるため。

超簡単な解説：地域密着型サービスを重視する理由は、地域とのつながりを保ちながら支援を受けられるため。

Q118 権利擁護 | 4択 | 応用

問題

Dさんは成年後見制度に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- B. 本人の訴えを受け止め、金銭管理や契約に不安がある場合、相談機関につなぐ。
- C. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- D. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。

答え・解説

正答：B. 本人の訴えを受け止め、金銭管理や契約に不安がある場合、相談機関につなぐ。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、成年後見制度の観点から本人中心に対応する。

Q119 権利擁護 | 4択 | 標準

問題

日常生活自立支援事業の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 通帳管理や福祉サービス手続きに困る人を社会福祉協議会等の相談につなぐ。
- C. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：C. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：日常生活自立支援事業では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q120 公的扶助 | 4択 | 標準

問題

生活保護制度に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- B. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- C. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- D. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。

答え・解説

正答：A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。